



演説会で訴える くぼた前都議

区は、これまでも台場住民に割引サービスを実施するよう強く要望してきた。今後もねばり強い要望をしていく、と答えました。
いのくま区議は、くぼた光前都議とも力をあわせて「ゆりかもめ」に対して申し入れをするなど運賃減額にむけ引き続き奮闘します。

ゆりかもめ料金を台場地域住民には、減額制度をつくるべきと質問しました。区からは三年間、毎年八千万円の出資で合計二億四千万円も「ゆりかもめ」に出資します。ゆりかもめの

ゆりかもめ 台場住民には運賃減額を

経営状況は、この数年間急速に改善し、累積黒字が四億円近くになっています。いのくま区議は、「経営も改善しているのだから減額は可能」と質問。

妊産婦健康診断費用の助成を

港区の出生率は0.87で国平均より大幅に低下しています。原因の一つに出産にかかる費用が多額ということがあります。

党区議団の質問によって区は、「診断費用の助成の必要性も含めて検討していく。来年度なるべく早い時期に結論を出したい」と答弁しました。

3, 4か月児健診を台場地域で実施せよ

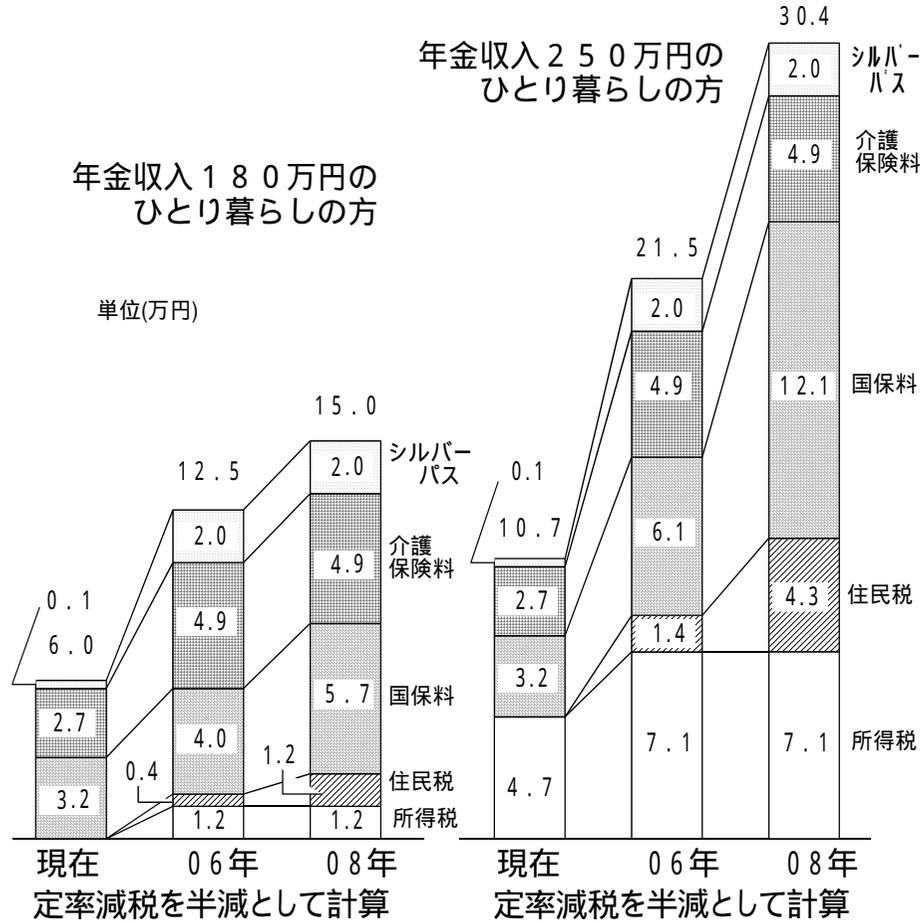
党区議団は、「3, 4か月児健診は、赤ちゃんを抱えて旧芝保健所まで行くので大変」、「混雑していて育児相談もできない」など保護者の悲鳴を紹介し、3, 4か月児健診の改善を求めました。来年4月から3, 4か月児健診は1日ですむようになります。

また、「台場地域でも健診実施を」と質問しました。区は、「適切な健診場所の確保が必要。台場地域も含め、健診場所を検討する」と答えました。

台場地域での健診実施へ具体的検討を約束しました。来年度から実施できるよう、さらに議会でも取り組んでいきます。

裏面もお読みください

豊かな財政活用し 増税から区民生活守れ 敬老祝金の支給など提案



今回の高齢者への増税は、単に税金を払うことにとどまらず、非課税から課税になることで、国保料、介護保険料、シルバーパス、都営住宅、区営住宅、公団住宅家賃、医療費負担等々、様々な影響が出ます(グラフ参照)。
日本共産党は、今後もねばり強く区民生活を守るための提案を行っていきます。

ここ六年間で区民税は二七六億円の増収(当初予算と最終補正)です。同じ六年間で

積立金は四六四億円増え、積立金総額は八九九億円です。党区議団は、豊かな財政を

区民生活を守るために、当面の施策として六五歳以上に五万円(十万円の敬老祝金、寝たきり手当を復活するよう提案しましたが、区は冷たく拒否しました。

こんにちは いのくま正一です

日本共産党

区政報告

60

2005年5月1日

〒105 8511

HP

メール

http://www.jcp-nat.okuji.dan.gr.jp/

mailto:inokunaga@jcp-nat.okuji.dan.gr.jp

電話

357812945

FAX

357812947

港区芝公園1-5-25

日本共産党港区議員団

ネコの去勢・不妊手術の助成拡大 台場で助成増加

昨年の議会で「ネコルールの創設」と台場地域での実態調査、ネコの去勢・不妊手術の助成の拡大を求めました。その結果、05年度の去勢・不妊手術の助成は台場地域50頭分が新たに増えました。

フットサル場 来年一月に使用可能 芝浦中央公園

港区にフットサル場の設置を求める請願が昨年2月に提出され、区民文教常任委員会で審議してきました。いのくま区議は、区内の設置可能な場所の選定と早期設置を求めてきました。区教委は候補地として、芝浦中央公園、芝プールをあげ準備が進み、芝浦中央公園には、フェンス設置の設計と工事が行われ、年内に工事完了、来年一月には使用できる予定。芝プールは、改築に合わせプールを使用しない時期にフタをかけ、フットサルができる設備となります。来年の九月中に使用開始予定です。これらの準備のため来年度予算に約2億円が計上されました。

出産資金の貸付制度ができました

出産時には50万円から60万円の費用がかかります。病院によっては保証金を必要とする場合もあります。国民健康保険の加入者が出産した場合、出産育児一時金が支給されますが、その一時金の9割・三五万円までの貸付制度ができました。

住民基本台帳 不正利用対策が必要

住民基本台帳の閲覧により、悪徳業者などが「振り込め詐欺」や「架空請求」などに悪用するケースが増えています。

いのくま区議は、悪徳業者や不審請求から個人情報を守る制度が必要だと質問。区は、被害の実態からも、個人情報の保護が求められ、全国連合戸籍事務協議会において、国に対し閲覧制度の抜本的見直しを求めている。と答えました。

「障害者控除対象者認定書」発行の周知を

障害者手帳を持っていなくても、区長が「障害者控除対象者認定書」を発行すれば、確定申告で障害者特別控除で所得税40万円、住民税で30万円控除、障害者控除で所得税27万円、住民税で26万円控除できます。区が積極的に「認定書」を発行するよう提案しました。「周知方法を改善する」と区が回答しました。

台場在宅サービスセンターは、現在、社会福祉協議会が運営していますが、来年の三月末で運営から手を引くと通知しています。区は、新たな事業者にゆだねる方針のようですが、現在のサービスが保たれるか心配されます。最低限、絶対条件として現在のサービスの後退させない、向上めざすべきだと質問。区は、「今後も事業継続する」、「通所介護と介護予防を柱に据え、自立高齢者へのサービス向上に努める」と答えました。

台場在宅センターはサービス低下するな

学校の運営経費、修繕費について、各学校から要望の出されている項目にしっかりと答えるよう日本共産党・いのくま区議が以前から質問してきました。平成七年を100として学校予算は五割台、六割台という状況が続ぎ、学校からは、サッカーゴールが老朽化してるとか、プラスバンド一式購入などなどの要望が出されています。いのくま区議の提案が一七

学校予算が大幅増額されます 図書予算は昨年度の10倍

学校の運営経費、修繕費に年度予算に反映し、学校から要望が実る方向です。担当課長は、「学校図書予算は一六年度と比べて一〇倍の一億五千万円」と答え、その他にもスポーツ設備やプラスバンドなどの部活動費用などを予算化し学校からの要望の約八割にこたえた予算にした、と答えました。施設修繕についても、各種の設備補修要望に対して五割程度は答える予算にしたと答えました。



四月から「ブックスタート」事業がはじまります。区議団が絵本を通じて親子が心を通わせる機会を提案し実現したものです。〇五予算に四六〇万円の予算がつきました。【ブックスタートとは】絵本を通じて親子が心を通わせる機会をつくり、本とのふれあいの機会を作ることなど、赤ちゃんの成長に良い影響があるといわれています。教育委員会と保健所が協力して実施します。

社会状況に合わせ 保育料の値下げを

渋谷区は実施

渋谷区では四月から、中堅所得者層の保育料引下げを実施しました。引き下げ幅は、年収三〇〇万円から八〇〇万円の世帯が五〇%、一千万円までが三〇%です。区議団は、港区でも引き下げを検討せよと質問しました。保育料は前年分の所得税額を基にランクが決められているため、所得が変わらなくても所得税が増えると、保育料も上がることとなります。

ブックスタート 四月実施